

在校生の言葉

冬の寒さも和らぎ、本格的に春の到来を感じる季節となりました。東京都立富士高等学校附属中学校十期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

いま、卒業生の皆様は三年間の中学校生活をどのように振り返っていらっしゃるでしょうか。社会状況が目まぐるしく変化する中で、たくさんを経験され、素晴らしい思い出を築きあげて来られたことと思います。私たちにとってすべてが初めてだった学校生活は、先輩方の支えによって光り輝くものになり、先輩方がこの学校に残してくださったものは富士中の土台として、私たちの学校生活をいつも支えてくれています。部活動や行事では、中学最高学年として、常に先頭に立ち私たちを引っ張っていただきました。先輩方のようにお一人お一人が自分の役割を考え、周りのために行動なさるは私たちの目標です。

私たちは先輩方の苦労や努力をこれまで何度も目の当たりにしてきました。そして試行錯誤を重ね、壁を乗り越えていく姿を何度も見てまいりました。そうした姿勢で得られた経験は、これからの人生で必ず生きていくことと存じます。これからは先輩方が数々の困難を乗り越えて築き上げた富士の伝統を、私たちが継承し、発展させていく覚悟でございます。

われわれは今、当たり前前のが当たり前ではなくなる、そんな社会に生きています。今までできていたことができない、先のことが分からない社会情勢の中、夢や目標に向かって進み続けることは簡単ではありません。しかし、そんな時こそ、私たちに見せていただいたような試行錯誤を続けて努力する姿勢はかならず役に立つことと存じます。私たち後輩に見せてくださったやさしさ、強さを忘れずに、未来へ向けて大きく羽ばたいていってください。そして、先輩方の母校、この東京都立富士高等学校附属中学校を、あたたかく見守っていてくださるならば、これほど心強いことはありません。

先輩方の一層のご活躍を祈念し、在校生代表の送辞といたします。

令和四年三月十二日

在校生代表 星川祥太朗